

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	3年度
事業名	公共下水道整備事業	担当課	上下水道課
事業内容(簡潔に)	公共下水道整備事業及び釜無川流域下水道整備事業		

### 1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	美しいふるさとを誇れるまちづくり	
	政策	心地よい定住環境のあるまちづくり	
	施策	上下水道の整備	
関連する個別計画等	地域再生計画	根拠条例等	下水道法

### 2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	<p>荊崎市公共下水道全体計画区域内の面整備を計画的に実施し、普及率の促進及び水洗化の向上を図ることにより、清潔で快適な住環境が構築できるよう事業展開をするものである。</p>						
事業の手段	<p>各家庭から排除される汚水及び雑排水を下水道管渠で集め、処理場で処理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体計画 昭和63年度～令和17年度、計画人口21,800人・下水道整備面積1,254.6ha</li> <li>汚水管布設延長 275km</li> <li>令和2年度整備事業 整備面積A=9.8ha 施工延長L=2,458m</li> </ul> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: right;">事業費</td> <td style="text-align: right;">352,691千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">負担金</td> <td style="text-align: right;">22,707千円</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>流域下水道整備事業負担金</li> </ul>			事業費	352,691千円	負担金	22,707千円
事業費	352,691千円						
負担金	22,707千円						
事業の対象	荊崎市公共下水道全体計画整備区域内の家庭や店舗、工場から排出される汚水						

### 3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30年度	元年度	2年度
財源内訳	A 事業費 (千円)	299,430	436,229	375,398
	国・県支出金	67,100	83,100	86,911
	その他(使用料・借入金ほか)	176,525	302,022	255,250
	一般財源	55,805	51,107	33,237
B 担当職員数(職員E) (人)	2.07	2.00	2.00	
C 人件費(平均人件費×E) (千円)	14,204	13,430	13,150	
D 総事業費(A+C) (千円)	313,634	449,659	388,748	
主な事業費用の説明	<p>公共下水道整備費及び公共汚水処理施設設置費、釜無川流域関連整備費負担金であり、平成30年度は国庫補助事業費の内示が要望に比べ低かった(75.0%)ため、事業費が少なく、令和元年度については、実施設計業務委託があったため、他の年度に比べ、事業費が高くなっている。</p>			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した30年度(6,862千円)、元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)を使用しています。

### 4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
活動指標	1 下水道整備延長	年間下水道整備延長(累計延長)	1,612m (175,400m)	2,110m (177,510m)	2,458m (179,968m)
	2 下水道整備面積	年間下水道整備面積(累計面積)	5.7ha (813.4ha)	7.8ha (821.2ha)	9.8ha (831.0ha)
	3 新規下水道接続	年間新規下水道接続数(累計接続数)	145件 (5,127件)	155件 (5,282件)	162件 (5,444件)
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	下流域より順次延伸しており、今後も計画的な管路の整備を行うことが必要である。			
	2	下流域より順次延伸しており、今後も計画的な面整備を行うことが必要である。			
	3	新規下水道整備地区及び既整備地区共に順調に下水道へ接続しており、今後更に接続の推進を図ることが必要である。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			30年度	元年度	2年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	下水道整備面積	整備済面積 (ha) / 全体計画面積 (1,254.6ha)	64.8%	65.5%	66.2%
	2	水洗化率 (下水道接続率)	水洗化人口 (人) / 処理区域内人口 (人)	93.5% (18,084/19,340)	93.2% (17,806/19,101)	93.4% (17,832/19,093)
	3	1m 当り整備費用	年度別事業費(千円/年) / 年度別延長 (m/年度)	195 千円	213 千円	158 千円
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	公共用水域の水質保全を図るため順調に整備が進められている。				
	2	令和元年度は水洗化人口の増加が鈍く、水洗化率は一時減少したが、その後は新規整備区域において、整備後早期の下水道接続が進んでおり、水洗化率が上がっている。				
	3	幹線の整備や徳島堰下越しによる推進工法の増加に伴い事業費が増加しており、令和元年度は実施設計業務もあり単価が上がった、令和2年度は比較的埋設深が浅い区間が多く、単価が下がり、効率的な整備が図れた。				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)					
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)					
	令和3年度の改善計画 (今後の事業展開説明) <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度より新たに策定した地域再生計画及び下水道事業計画に基づき、下水道整備を進める。</li> <li>ルート及び管路の埋設深さの検討をし、効率的な整備ができるようにする。</li> <li>今後、令和2年度策定の経営戦略に基づいて、健全な経営に努めていく。</li> <li>次回 (令和6年度) の事業計画変更に合わせて、下水道計画区域の見直しを行い、各地区に合わせた最適な汚水処理方法を検討していく。</li> </ul>					
過去の改善経過	改善の経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済的なルートの検討、管路の埋設深さを浅くしコスト削減に努めてきた。</li> <li>コンクリート柵から安価な塩化ビニール柵の小口径マンホールを多く使用する等の改善を行ってきた。</li> <li>合併浄化槽設置促進事業と一体的な整備を行ってきた。</li> <li>地区要望を取り入れた中で整備を行う優先順位を決めた。</li> </ul>				
	直近の評価結果	内部評価	令和元年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
		外部評価	平成27年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		
改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルート及び管路の埋設深さの検討をし、効率的な整備ができるようにする。</li> <li>今後、財政状況を見ながら健全な経営方法、施工計画を検討していく。(令和2年度より、公営企業会計の適用を開始する予定。)</li> <li>平成30年度には、維持管理計画を含めた、下水道事業認可の変更及び都市計画決定の変更を行う予定。</li> </ul>					
課長所見	本市の下水道は平成元年度から整備を始め32年経過しているが、整備率は全体計画の約2/3で長い年月と費用が掛かっている。 一方で、当時と比べると生活用水等の水質は断然良くなっており、整備区域の生活環境は向上している。 今後も、下水道整備は進めて行くべきであるが、定期的な事業計画等の見直しを行うと共に、経営戦略に基づいた経営健全化を図っていく必要がある。					